森からのお手紙

13号

森のこよみ お客様物語 河野千代子さん

Topics

うち50〜60の山は登ったとのことです。子どもや孫を連れキャご主人を納骨されました。 ご夫婦は自然が好きで、百名山の千葉県茂原市にお住まいの河野千代子さんは、昨年11月に にあるお寺を見学する予定でしたが、台風で行けなくなり、機 であることがわかりました。治療を受けた後は一旦元気になご主人は昨年の早春から体調が悪くなり、5月には肺ガン 50年後の森を目

て入院、亡くなりました。娘さん、息子さんご家族や、ご主人 、理学療法士を目指すお孫さんが来て、 時々一緒に体操をす

初めて長南町に行った時は「自然がいっぱいだけど寂しい こんな場所があるんだ!」と思ったそう

弟さんに生前のご意志を告げ、森の墓苑に入ることを皆賛

その想いや考えを、お届けします。

お客様物語 河野 千代子 さ 第13回

知識・興味もあり、 現代の一般的なお墓の形には疑問を持っ

まだ元気なうちから、お墓については話し合いをしてきま

墓苑を見た娘さんも「お父さんの希望通りの環境だね」

千代子さんは、自宅から16キロの道のりを自転車でお墓参

「あと数年で車はやめようと思っているし、 いろいろ楽しみ

森からのお手紙 13号 2024 発行:(公財)日本生態系協会



(公財)日本生態系協会 森の墓苑東京事務所 〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20音羽ビル 電話 0120-901-580 (9:00 ~ 18:00)

植樹草会2024

深い藍色に絞りの模様が素敵な 味わった後は、『藍染め』体験。 にご参加いただきました。雨天 作品ができあがり、盛りだくさ の苗木とヤブランを植付けまし を楽しみ、地域に自生する木々 研究の専門職員による自然観察 となりましたが、生きもの調査 らづくりに、例年より多くの方 んの一日となりました。 今年は8回目となる森と草は 昼食に地元食材のお弁当を











体験の機会の場

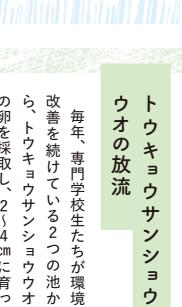
ソウの白が際立ちます。いのちが輝く芽

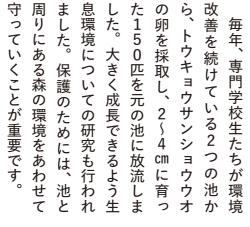
こ森の木々や草はらが包まれます

方について勉強になりました。 サンショウウオをはじめ、苑内 森の墓苑のコンセプトや管理の 先生方が研修会を行いました。 フ一同、いのち輝く墓苑のあり のお話をしていただき、スタッ で見られるさまざまな生きもの だきました。また、トウキョウ ポイントを、熱心に聞いていた て研究している、高校の生物の 千葉県内でビオトープにつ















お盆8月10日 (土)~18日 (日) と、秋のお彼岸9月19日 (木)~25 (水) は毎日開苑しています。

[**お問い合わせ] 電話 0120-901-580**(全日9時~18時) [**開苑時間] 10~16時 月曜定休**(月曜日が祝祭日の場合は開苑)